

動物愛護週間特集号

9.15

2015
(平成27年)

■八王子市保健所 ☎042・645・5111 (代表)

■ホームページアドレス <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>
(モバイル版) <http://mobile.city.hachioji.tokyo.jp/>



人も動物も

快適に暮らせるまちをめざして

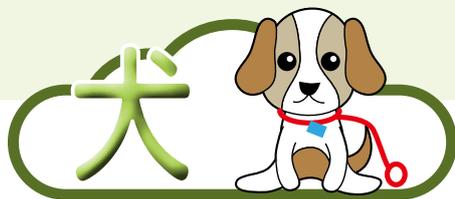
本市は、平成27年4月1日から中核市となり、
「八王子市動物の愛護及び管理に関する条例」を施行しました。

条例のポイント

動物を飼うときには

- ◆ 周辺環境に配慮しましょう。
- ◆ 飼い主がわかるように名札などをつけましょう。
- ◆ 最期まで適正に飼いましょう。
- ◆ 災害に備えて、動物のためにも準備しましょう。
- ◆ (散歩などで) 犬を放すことはやめましょう。
- ◆ 公共の場所などで犬が排泄したら片付けましょう。
- ◆ 感染症予防や事故防止のために、猫は室内で飼うようにしましょう。





犬の登録・狂犬病予防注射

◆ 犬の登録と届け出

犬を飼い始めたら登録(犬の一生に1回)と鑑札の交付を受けてください。

飼い主の変更や引越し、犬が死亡した場合も届け出が必要です。

◆ 鑑札と注射済票は必ずつけましょう

雷など、思いがけないきっかけで迷子になったときにも役立ちます。また、災害時には周囲の方への安心感にもつながります。



◆ 狂犬病予防注射

狂犬病は、犬だけではなく、人を含めてすべての哺乳類がかかり、人で発症するとほぼ100%死亡する恐ろしい感染症です。

毎年4月1日から6月30日までに、狂犬病予防注射と注射済票の交付を受けましょう。



鑑札

(交付手数料: 3,000円)



注射済票

(交付手数料: 550円)

◆ 登録及び注射済票交付窓口

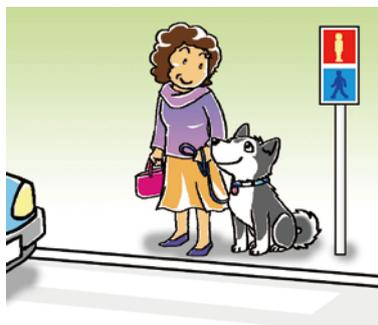
八王子市では、保健所、市役所本庁舎、各事務所が窓口です。

人も犬も安全で快適な生活を

◆ 適正なしつけで安全・安心

犬の習性や特性をよく理解し、適正なしつけを行いましょう。

また、「まで」や「おいで」ができる、いざというときに役立ちます。



◆ 放し飼いや散歩で放すことは危険です



犬のとっさの行動に対応できるようにリードは短めに持ち、長さが伸び縮みする伸縮リードは、短めに固定しましょう。

◆ 周辺環境への心づかい

尿は水で流し、糞は持ち帰りましょう。散歩の前に排泄する習慣を身につけさせることも大切です。

また、犬の鳴き声や毛の飛散にも注意し、動物が苦手な方や周辺環境にも気を配りましょう。



◆ いつまでも健康で過ごすために

犬の病気や感染症などの正しい知識を持ち、予防を心がけましょう。また、熱中症予防など時季の変化に応じた環境づくりを行い、日頃から犬の様子に気を配りましょう。



▲熱中症予防ポスター
(動物愛護推進員と連携して作成)



猫との暮らし方を考えましょう

◆ 猫は室内で飼いましょう

身元表示（名札やマイクロチップなど）をして室内で飼育することが猫にとって安全です。万が一のときのために室内飼育でも日頃から身元表示をしておきましょう。また、猫の室内飼育には、トイレや安心して眠れる場所、おもちゃなど、猫のニーズを満たした環境を整えましょう。増やさないのであれば、不妊去勢手術を実施しましょう。



◆ 外には危険がいっぱい!



◆ 無責任な餌やりはやめましょう

糞尿や農作物への被害、車のキズなど、保健所には猫による多くの苦情が寄せられています。無責任に餌やりだけをしていると、近隣の理解は得られず、猫も嫌われものになってしまいます。管理すべき猫を特定し、置き餌はせず、不妊去勢手術を行いましょう。



◆ 飼い主のいない猫の不妊去勢手術

飼い主のいない猫（野良猫）の不妊去勢手術には助成金制度があります。また、手術目的の捕獲器の貸出しも行っています。不妊去勢手術費用の助成は、市内の動物病院で手術を実施した市民や団体が対象で、めす5千円、おす3千円を上限とし、予算に達し次第終了となります。

問い合わせ 生活衛生課
☎645-5113



できていますか？

- 鑑札、注射済票、迷子札、マイクロチップの装着
- 健康管理（ワクチンの接種、ノミの駆除など）
- 避難場所、避難経路の確保
- ケージトレーニング
- 鳴き声やトイレなどのしつけ

準備しておきましょう

- 常備薬
- フードと水（1週間分）、食器
- ケージ、リード、ハーネスなど係留用品
- トイレ用品、ゴミ袋、タオル
- 飼い主と一緒にの写真、健康手帳

本市では、さまざまな方と協力しながら、人と動物が快適に暮らせるまちをめざしています。裏面に一例を紹介しています。

～ある町の取り組み～

地域で猫のことを考えてみませんか？

野良猫による糞尿・いたずらの被害、無責任な餌やりなど多くの苦情・相談が保健所に寄せられています。そのような中、市内のある地域では、住民の合意と協力によって野良猫の被害を減少させました。その取り組みに参加された方から、取り組みの内容や工夫した点についてお話しをうかがいました。



1 取り組みのきっかけ

私たちの町内では長い間、無責任な餌やりによって集まった野良猫の糞尿の被害に困っていました。とくに餌場の近くに住む方は糞の始末と尿の悪臭で大変なストレスの日々でした。

2 被害を減らすために

そこで、近隣の有志(約30人)で相談し、猫用のトイレを設置しましたが、管理が大変でうまくいきませんでした。また、同時に自治会に対策を要請し、自治会新聞に啓発記事を掲載してもらいましたが、具体的な対策には至りませんでした。

しかし、これと前後して、野良猫に不妊去勢手術をする方法が有効であることを知り、問題の“即時解決”にはならないものの、やる価値はあると思い、実行することとしました。

3 地域みんなのチカラで

具体的には、手術費用として市の助成金制度を活用し、不足分は住民にカンパを募りました。また、「野良猫の捕獲」、「動物病院への運搬」、「手術後の引き取り」、「もとの場所へ戻すこと」を当番制にしました。

そして、町内全戸に私たちの活動の趣旨を説明するチラシを4回配布し、動物愛護にさまざまな意見を持つ方に対し、不妊去勢手術の必要性について理解を求めました。また、飼い猫を誤って捕獲しないように、猫を飼っている方には、チラシに添付した調査用紙への記入と飼い猫の写真の提出をお願いし「飼い猫調査」も行いました。その飼い猫リストを活用し、捕獲した猫が「飼い猫でないこと」を逐一確認しました。

無責任な餌やりで困っていたのは町の一部地域だけでしたが、他の地域からも多くの支援の声とカンパをいただきました。

4 人と猫の共生をめざして

このようにして、計20匹の野良猫を施術し、手術済みの印を入れ、もとの場所に戻しました。その結果、繁殖が制限されたためか、野良猫は前よりずいぶん少なくなりました。また、糞尿の被害もだいぶ減り、ある程度ストレスから解放されたところで、私たちは活動をいったん休止することにしました。

これらの活動を通して実感したのは、野良猫との“共生”は「深く難しい問題」であるということです。同じ地球に暮らす動物の“命”について、ドライに考える人、真摯に考える人、いろいろです。そんな中で、私たち有志と町の人々が何とか“合意”した方法が今回の活動でした。今後も野良猫たちとは、迷いつつも地道に付き合いながら、人と動物が共生するために何が必要であるかを考えていきたいと思えます。

🐾 動物講演会のお知らせ 🐾

期日／11月8日(日曜日)

会場／北野市民センター 8階 ホール

(八王子市北野町545-3 きたのタウンビル8階)

対象／市内在住、在勤、在学の方

定員・費用／各200名(先着順)・無料

申込／9月15日(火)から電話またはFAXで生活衛生課へ

☎ 042-645-5113、FAX 042-644-9100

※当日、会場へは公共交通機関をご利用ください。

① ペットの困りごと解決法 ～問題行動をなくして幸せに暮らすコツ～
講師／茂木 千恵 氏(ヤマザキ学園大学講師、獣医師)
時間／午後1時から午後2時30分まで
内容／動物と周囲の方が快適に暮らすためのより良い飼い方など。

② 高齢動物との暮らし方 ～人と動物が最期まで幸せに暮らすために～
講師／花田 道子 氏(ヤマザキ学園大学教授、獣医師)
時間／午後3時から午後4時30分まで
内容／ペットが終生健康で飼い主と楽しい時間を過ごすためのポイントなど。